## こども一人一人の 理解と支援のために

~ともに支える特別支援教育をめざして~



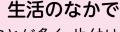
### 特別支援教育とは…

障がいのあるこどもを含め、特別な配慮を必要とするこども一人一人の 教育的ニーズを把握して、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

### 例えば、こんなことはありませんか?

### 学習や活動のなかで

- | 対 | で話すと分かるが、集団の中では 話の内容が分からないことがある。
- ●聞いたことを忘れることがある。
- ●落ち着きがなく、活動中に席を立つことがある。
- 忘れ物が多い。
- ●音読に困難があり、努力したがあまり改善 しない。
- 文字を書くことに時間がかかる。



- ●物をなくすことが多く、片付けが苦手である。
- ●同じ間違いを何度も繰り返す。
- ●こだわりが強く、予定の変更を嫌がる。
- 友達とすぐけんかになる。

### 遊びのなかで 一人で遊んでいることが多い。 ●ゲームの勝ち負けに強いこだわりがある。

- ●冗談を言葉どおりに受け取ることがある。
- ●興味があるものに熱中すると、話しかけられても 気づかないときがある。



### 周囲の正しい理解と適切な支援が必要です。

### 小さなサインを見逃さないようにしましょう。

こどもの言葉や行動、態度の中から「困っているよ」「手伝って」 「ちょっと助けて」というメッセージを受け止めましょう。



どのこどもにも個性があります。一人一人の得意なことや特性を しっかり見て、自信や意欲が高まるような声かけをしましょう。

### こどもが安心して活動できる環境を 整えましょう。

はじめに手順を説明する、写真や絵カードを用意する、不安定になった時にゆっくりできる スペースを作っておくなど、安心して学習し、行動できる環境になるよう工夫しましょう。





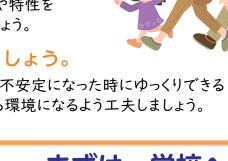
まずは、学校へ ご相談ください。

# 相談窓口

- ●学級担任
- ●特別支援教育コーディネーター (担任の支援や関係機関との連携を 中心になって行う職員)
- ●学年主任や養護教諭
- ●教頭

など





### 小学校における校内支援体制



悩み 不安





保護者

### 校内委員会

- ・ 職員間の共通理解
- 支援方法の検討
- 校内支援体制の検討
- 個別の教育支援計画、 個別の指導計画の作成



### 職員会議

学校

### 学年会

#### 職員研修

- 特別支援教育の理解・啓発の促進
- ・専門性の向上

### 丁寧な実態把握を行い、アセスメントをします。

例)読み書きが苦手なこどもへの支援

### 学校や保護者の気づき (実態把握)

#### 「読み】

- ●嫌がる
- ●時間がかかる
- ●語句や行を抜かしたり、 同じところを読んだりする
- ●勝手読み(「いきました」を 「いました」と読む)が多い



検討

### よりよい支援方法を探っていく (アセスメント)

学校は本人・保護者と相談しながら、

#### 支援例)

- ●文節と文節の間に"/"を 入れて読みやすくする
- ●一行ずつ文が見やすくなる ような補助具を活用する
- ●ICT機器の読み上げ機能を 活用する





#### 「書き〕

- ●嫌がる
- ●時間がかかる
- ●文字の形やバランスが整わな かったり枠からはみ出したり することが多い
- ●細かいところに注意して書く ことが苦手である



支援 の有効 性

#### 支援例)

- ●大きめのマス目や補助線 入りのプリントを活用する
- ●実態に合った方法を試行する (語呂合わせや漢字パズル等)
- 試験の時間延長を検討する
- ●タブレットを活用する



### 学校ではこんなことに配慮しています。(支援例)

活動に見通しをもちやすくする配慮

感覚の過敏さを軽減する配慮

授業に集中しやすくする配慮

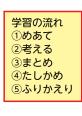
座席配置や教室掲示の工夫 等

片付けしやすくする配慮

整理箱の準備と活用 等

車いすで通りやすくする配慮

バリアフリーの検討 等







### 連続性のある多様な学びの場があります!

おこさまの特性等に応じて学ぶことができます。



小学校内

※学びの場の見直しについては、在籍校へご相談ください。

#### 【特別支援学級】

障がい種別の少人数学級です。特別支援学級で 多くの時間学ぶこどもが利用できます。

#### 【通級指導教室】

通常の学級に在籍し、週1回程度、自校または 他校で指導を受けます。

※市内 26 校に設置 (R5.5.1 現在)

※学校ごとに、設置している特別支援学級の学級種が 異なります。

## 園や学校と保護者、関係機関等がしっかりとつながり、ともにこどもたちを支えましょう。 ~切れ目ない一貫した支援のために~

園や学校と保護者が協力して「個別の教育支援計画」や「移行支援シート」等を作成し、効果的な支援を

就学先・進路先へ引き継ぎます。

.0.

幼稚園



**100** 

中学校



移行支援シート及び特別 支援教育についての Q&A はこちらから閲覧できます。



### ●一人で悩まないで、相談してみましょう。

お気軽に ご相談 ください



### おこさまの発達等にかかわる熊本市の主な相談機関※会和6年1月時点の相談機関名

	プラングが、十つはマンエーの「ロロス 1/2/120 ※市和の中	1万时点以他数极因
発達や就学、不登校等に関すること (年長児から)	熊本市教育委員会 総合支援課 教育相談室 (こどもセンター あいぱるくまもと2階)	<b>☎</b> 096-362-7070
18歳までのこどもの発達に関すること	熊本市こども発達支援センター (ウェルパルくまもと 2 階)	☎ 096-366-8240 FAX 096-366-8260
発達障がいに関すること	熊本市発達障がい者支援センター みなわ (ウェルパルくまもと2階)	☎ 096-366-1919 FAX 096-366-1900
学校教育に関するあらゆる相談	学校教育コンシェルジュ (こどもセンター あいぱるくまもと2階)	<b>☎</b> 096-362-7171
こどもの権利に関する相談	熊本市こどもの権利サポートセンター こどもホットライン(こどもセンター あいぱるくまもと2階)	☎ 0120-273-070(こども専用無料) ☎ 070-3367-9330(大人の方用)
こども・若者に関するあらゆる相談	熊本市こども・若者総合相談センター (ウェルパルくまもと2階)	<b>☎</b> 096-361-2525
こどもの養育、非行や虐待等に関すること	熊本市児童相談所 (こどもセンター あいぱるくまもと3階)	<b>☎</b> 096-366-8181
特別支援教育全般に関すること	熊本市教育委員会 総合支援課 特別支援教育室	☎ 096-328-2743 FAX 096-323-8355
健康に関すること (小学校区担当の保健師がいます)	各区役所の保健こども課へお問い合わせください。	
身体障害者手帳・療育手帳等 福祉制度の相談に関すること	各区役所の福祉課へお問い合わせください。	

熊本市教育委員会 総合支援課 特別支援教育室 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号 **©** 096-328-2743 FAX 096-323-8355